

都立日比谷公園の再生整備計画 検討状況 報告資料

- 資料3-1 日比谷公園を取り巻く社会環境
- 参考資料 日比谷公園周辺のまちの変遷
- 資料3-2 100年余の歴史を営む日比谷公園
- 資料3-3 日比谷公園再生整備計画の考え方
- 資料3-4 日比谷公園再編後の空間のイメージ

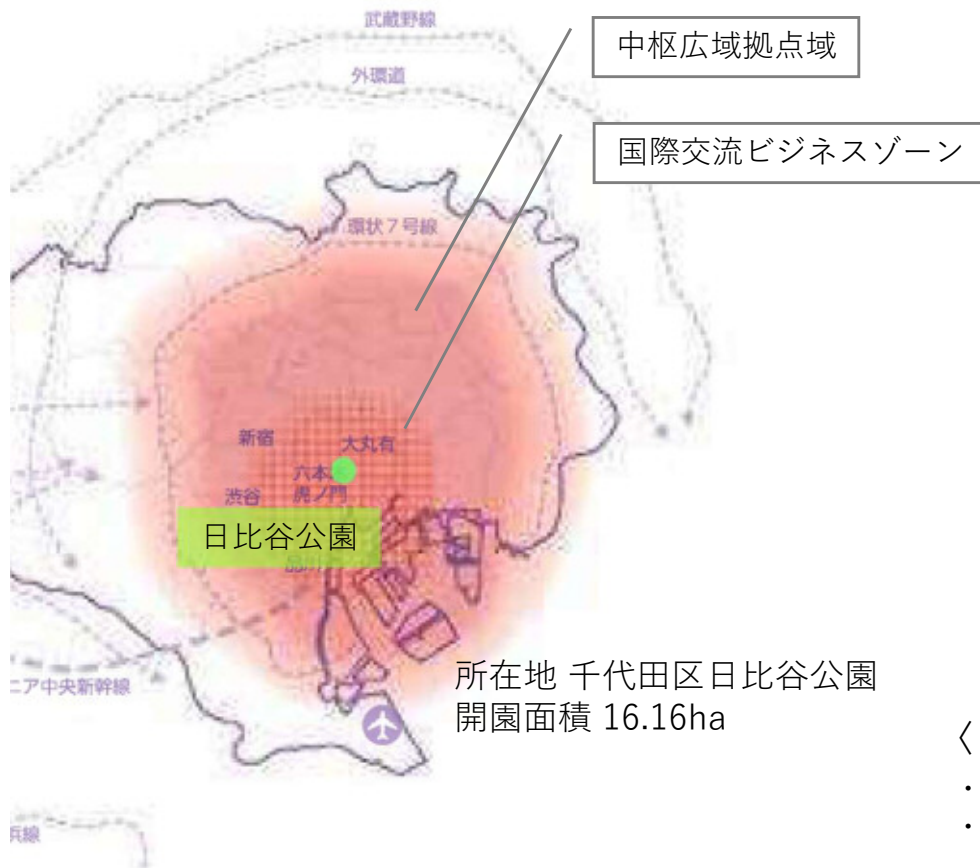
※ 著作権の関係により、イメージ写真の一部を削除しているため、当日配布した資料と異なります。

日比谷公園を取り巻く社会環境

～ 目指すべき新しい都市像～

- ・日比谷公園が位置する国際ビジネス交流ゾーンでは、グローバルなビジネス展開を支える外国人向けの住宅、サービスアパートメント、医療・教育機関など、国際的に高い水準を持つ**緑豊かな都市環境の整備**が求められている。

(H29.9 東京都「都市づくりのグランドデザイン」)



～ 都心に立地し、性格の異なる「まち」に囲まれる日比谷公園～

- ・日比谷公園は、北側に**皇居と周辺の緑地**と国際的なビジネス拠点である**大手町・丸の内・有楽町**、東側に文化・交流・迎賓・業務機能を持つ**日比谷・内幸町**、南側に業務・商業・居住機能が集積した**新橋・虎ノ門**、西側に政治・行政の中心である**霞が関**といった**性格の異なるまちの中心に位置している**。



〈 再開発が進む有楽町、内幸町地区 〉

- ・日比谷公園東側の有楽町地区では、H30年に「東京ミッドタウン日比谷」が竣工
- ・国家戦略特別区域会議において、内幸町地区の都市再生プロジェクトの民間提案

日比谷公園は、これまで周辺地域や社会状況にあわせて機能の充実を重ねつつ、都心の緑の骨格を形成。公園の再生整備を契機に、公園が核となって性格の異なるまちをつなぎ、まちと公園の魅力を相互に高め合うことが必要。

日比谷公園周辺のまちの変遷

	近代化		震災・戦争	復興 → 高度成長	安定成長 → 低成長	新しいステージ
	明治 1868-1912	大正 1912-26		昭和 1926-1989	平成 1989-2019	令和 2019-
霞が関	霞が関集中計画 〔明治初期～中期〕 ●司法省〔M28〕	震災 1923年 〔M28〕	終戦 1945年	東京五輪 1964年 ●中央合同庁舎 第1号館〔S29〕	超高層時代〔S50～H7〕 ●中央合同庁舎 第5号館〔S58〕 ●法務省旧本館復元〔H7〕	●今後の霞が関地区の 整備・活用のありかた〔H20〕 ・地区全体の景観の形成 ・歩行空間、緑の連続性
大手町・丸の内・有楽町	三菱1号館等「一丁倫敦」 「一丁紐育」〔明治・大正～〕		ビジネス街完成〔T12～S5〕 ●中央郵便局〔S8〕	東京オリンピック時の丸ビル	・丸の内再構築第1ステージ〔H14～〕 ・丸の内再構築第2ステージ〔H21～〕 ●三菱1号復元〔H21〕 ●東京駅駅舎復原〔H24〕	まちの魅力を 高める取り組み
新橋・虎ノ門	●新橋・横浜間の鉄道 開通〔M5〕		昭和初期の虎ノ門	高度成長期の新橋駅	●環状2号線開通、 虎ノ門ヒルズ開業 〔H26〕	
日比谷・内幸町	●鹿鳴館〔M16〕 ●帝国ホテル〔M23〕		●三信ビル〔S5〕 ●東京宝塚劇場〔S9〕	●日比谷三井ビル〔S35〕	●ミッドタウン日比谷〔H30〕	

100年余の歴史を営む日比谷公園

	近代化		震災・戦争	復興→高度成長	安定成長→低成長	新しいステージ
	明治 1868-1912	大正 1912-1926		昭和 1926-1989	平成 1989-2019	令和 2019-
日比谷公園	●開園 1903年(M36)	震災 1923年	終戦 1945年	東京五輪 1964年	東京五輪 2020年	開園130周年 2033年
	我が国初の近代的洋風公園[✓心字池、第一花壇、S字型園路、雲形池、 ✓運動場、大草地広場 ✓飲食店] ✓図書館(M39)	✓テニスコート3面(T9)→5面(T11) ✓児童遊園(T9) ✓大音楽堂(T12) ✓日比谷公会堂(S4) ・震災時[集団仮設住居] ・戦時中[高射砲陣地、菜園(→児童遊園縮小)] ・戦後は進駐軍が接收		・公園地下に都市計画駐車場(S33) ・運動場→大噴水・第二花壇など(36) ：政治集会や多様な催事の場としての利用 ✓健康広場(S36) ✓児童遊園廃止→健康広場 拡張(S57)	✓緑の図書館 東京グリーンアーカイブス(H2)	日比谷公園 再生整備
東京のシンボリック公園として先導的な取組 (✓文化の発信 ✓アクティビティの場の提供 ✓知のストック) により、人々に親しまれてきた						

1 日比谷公園の主な特性

- ・都市計画中央公園として、**都心の緑の骨格**を形成
- ・我が国初の近代的洋風公園で、「**3つの洋（洋食・洋楽・洋花）**」を発信
- ・**国家的行事の会場**や**東京の観光地**、催事等により賑わいを創出
- ・公園内に、先駆的な**新しい活動の場を提供**（大草地(芝生)、テニスコート、児童遊園、健康広場など）
- ・**江戸城の遺構**を活用した日比谷見附跡の石垣に加え、S字型園路など開園時の設計思想を継承して現在に至っており、**文化・歴史資源**が数多く存在
- ・日比谷図書文化館や緑の図書館などには、**まちや公園の史料を蓄積**

2 日比谷公園の主な課題

- ・利便性が高い立地条件にあるが、広幅員道路や地下道からの階段等のバリアが存在し、**まちと公園のアクセシビリティ**が良くない
- ・皇居外苑等との**回遊性や景観のつながり**が弱い。樹木や施設が視線を遮って園内外の**視認性が低い**
- ・日比谷公会堂から小音楽堂までの**ビスタ景観などを活かした空間利用**（イベント利用等）ができていない
- ・寄贈物等が園内に混在し、**日比谷にまつわる文化・歴史資源**の分類や整理がなされてこなかった

日比谷公園再生整備計画の考え方

【新たな魅力（価値）のイメージ】



1 再生整備計画の考え方

時代の変遷を経て変化した日比谷公園の有り様を見つめ直し、時代のニーズにこたえ、この公園が持つ特性に磨きをかけ、新たな魅力（価値）を創造していく。

2 日比谷公園の使われ方のイメージ

まちと共に新たな魅力や賑わいを創出し、子供から大人まで多様な利用者が楽しめる ■ 利用・連携

公園がこれまで紡いできた文化・歴史を再発見、再認識してもらう ■ 文化・歴史

都心の緑の核であり、心地よく過ごせる上質な緑の空間を実感できる ■ 緑・景観

歴史や伝統を**継承**しつつ、**新たに**多彩な芸術やエンターテイメントなどを提供する空間

施設の再編等により、皇居外苑との**つながり**を**新たに**創出する空間

ビスタ軸を中心とした**ひろがり**を体感し、様々な使い方に柔軟に対応する空間

時代のニーズに合わせ、多目的な利用を**生み出す**空間

公園の文化・歴史資源を顕在化し、**新たに**利活用を図り、未来へ価値を**つなぐ**空間

公園が**ひろがり**、まちと連携して回遊性を高め、賑わいを**新たに**創出する空間

公園外周部で歩道と**ひろがり**ある一体感を創出。まちとの**つながり**を感じる空間

